

環境農業新聞購読方法

年3,000円  
毎月15日発行  
FAX、メールでお申し込み下さい。  
郵便振替口座 00150-2-290578

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2022年(令和4年)

11月15日(火)

第249号

毎月15日発行

平成13年4月17日

第三種郵便物認可

発行所 環境農業新聞社  
編集発行人 成瀬一夫  
東京都葛飾区東金町1-41-9  
〒125-0041 フランス堂ビル3階  
電話 03-3826-5212  
FAX 03-3826-5217  
年間購読料 3,000円(税・送料込)  
郵便振替口座 00150-2-290578



日本豊受自然農  
秋の収穫祭

爽やかな青空の下、富士山がよく見える素晴らしい景色の中で行われた豊受自然農の収穫祭

自然農を楽しく学ぶ豊受自然農体験ツアー

子供たちの喜びの声響く

特製豊受ランチ等を満喫

農業、化学肥料などを一切使わないので、子ども達が畑の中で安心して収穫できる光景は見事なほどだ。日本豊受自然農は恒例の秋の収穫祭を静岡岡原南農場で開催した。この模様をC.H.Homのレポートが伝えているのでそれを紹介しよう。

恒例行事となりました日本豊受自然農 函南自然農場での収穫祭。今年も絶好のツアー日和、爽やかな青空の下、富士山と駿河湾が望める素晴らしい景色が堪能できました。お客様は約150名、耕作放棄地対策を協力して行っている伊豆の国市産業部農林課の山口農業振興係長も来賓に迎えての開催となりました。

夏の天候不順などで収穫が心配されましたが、お蔭様で穀類、野菜、ハーブなど今年も豊作となりました。そして毎週由井代表が農場からインスタライブ配信している「みなTV」特別編として今回のツアーは配信され、自宅からも多くの人がオンライン視聴で堪能されました。ツアー参加者は9時30分にJR函南駅に集合、マイクロボス6台に分乗し、標高3300m地点、山の中にある六本松地区の圃場へと向かいました。

サツマイモ掘り  
○サツマイモ 落花生、里芋、生姜、唐辛子、みかんの収穫体験  
収穫祭の最初のイベントは、サツマイモ(品種トハ、サツマイモ(品種トハ、坂出金時)の収穫体験。サツマイモは全国で基腐病の流行が大きな問題となっていますが、豊受の圃場では「豊受御古菌」をまいて豊かな土壌菌の環境づくりからの農業を行っているのです。今年の収穫でも基腐病の被害は全くなかった。



出迎え

掘ったヨ!

大きなお芋です

生姜の収穫

落花生がいっぱい

長いですよ

昼食ランチ

見送り



自ら収穫する由井代表

書は全く出ていません。芋つるを引っ張ると、しっかりと大きな芋たちがゴロゴロと次々掘り出され、子供たちも歓声を上げていました。収穫したサツマイモを早速、先生が説明しました。生かすのと20個以上の芋がびっしり。1つの里芋から20個の里芋がでる農業は現代の錬金術のようなもの、と先生が説明しました。生かすのと20個以上の芋がびっしり。1つの里芋から20個の里芋がでる農業は現代の錬金術のようなもの、と先生が説明しました。生かすのと20個以上の芋がびっしり。1つの里芋から20個の里芋がでる農業は現代の錬金術のようなもの、と先生が説明しました。

動画を無料配信

10月のJPHMコンGRES

10月開催の第23回JPHMAコンGRES オパシー、自然農が救った信奉の崩壊。この動画を無料配信します。未曽有の時代をホメ、詳しくはコングレスタ特設サイトを覗いてください。



健康被害救済  
新型コロナウイルス感染症による健康被害救済のため、JPHMA認定の日本ホメオパシー本部センター(総セクター長 由井真子)にて、期間限定の無料健康相談会を実施しています。詳細確認は、JPHMA事務局(03-5797-3073, office@jphma.org)までお問い合わせください。

訂正とお詫び 10月15日付の一面で野村農相を能村農相としてしまいました。野村農相に訂正  
たき火で焼き芋にして美味しくいただきました。里芋がびっしり  
落花生、生姜、里芋の収穫も豊作。こちらの収穫体験でも子供も大人もおおはしゃぎ。畑では生の落花生と茹で落花生を食べ比べました。里芋の収穫では、スタッフがクワを入れ、皆さんで引き抜きました。引き抜いてみると1株で20個以上の芋がびっしり。1つの里芋から20個の里芋がでる農業は現代の錬金術のようなもの、と先生が説明しました。生かすのと20個以上の芋がびっしり。1つの里芋から20個の里芋がでる農業は現代の錬金術のようなもの、と先生が説明しました。